

この人に聞く！芸術祭①

札幌国際芸術祭で地域ディレクターを務め、中央区を拠点に活動している美術家/アートディレクターの端聡^{はたさとし}さんに、芸術祭鑑賞のポイントや、担当している500m美術館の展示などについて聞いてみました。



Q 札幌大通地下ギャラリー500m美術館の展示について教えてください。

A 北海道・札幌にゆかりを持ち、札幌の都市化の歴史を体感している16人のアーティストたちによる「都市と自然」をテーマにした作品を展示します。人間と自然、都市と自然の共存を考えるきっかけづくりとなる作品群です。

Q 現代アートって難しそうです。

A ぱっと見たら、一体何だろうという抽象的な作品もあります。そういう「何だろう」「なぜ作品としてあるのだろう」を考える現場こそが、現代アートの「作品」なのです。考える瞬間、市民も創造者、芸術家になっている、というのも芸術祭の大きなテーマです。

Q 中央区の印象は？

A 円山と大通地域で10年以上活動しています。札幌の中心でありながら、原生林などが残されていて、これだけ自然に優しい都市整備をしたのはここくらいではないでしょうか。今回の「都市と自然」というテーマが世界中で一番合っているまちだと思っています。

この人に聞く！芸術祭②

札幌大谷大学芸術学部で日本画を専攻し、今回ボランティアスタッフとして国際芸術祭に参加する山本彩花^{やまもとあやか}さん（南円山地区在住）に芸術祭についての印象やボランティアへの意気込みなどを聞いてみました。



Q ボランティアに応募したきっかけを聞かせてください。

A 芸術系の大学なので、ポスターが早めに張られていて興味があったのと、「国際」芸術祭というのも全国的に珍しくて、それを自分の地元でやるのならいいなと思ったのがきっかけで、応募しました。

Q 「都市と自然」というテーマから何をイメージしますか？

A すぐ想像できるのはやっぱり大通公園です。都会のど真ん中にあれだけ大きな公園があるのは全国的にも珍しいと思います。中央区が一番「都市と自然」が共存しているんじゃないかなって感じがします。

Q 意気込みをどうぞ！

A 近代美術館などで、会場案内やグッズ販売などを予定中です。芸術祭を見に来た人や、参加している人、外国から来た人とたくさん会話をして、今後自分の作る作品につながったり、自分の視野が広がったりするような経験ができればいいですね。

中央区役所も札幌国際芸術祭と連携します



中央区では、区内のデザイン系専門学校生を対象に中央区の広報用ロゴや、ポスターデザイン募集事業を行っています。今回、連携企画として、歴代の入賞作品や、芸術祭のテーマ「都市と自然」をイメージできる作品などを協力校からお借りし、来たれ専門学校生！活かそうみんなの専門・協働事業 作品展を行います。この機会にぜひご覧ください。

日時：7月7日(月)～31日(木) 8時45分～17時15分(土・日・祝日を除く)。

会場：中央区役所1階ロビー(南3西11)。

詳細：総務企画課広聴係 ☎205-3216

